

「宇宿小学校の宇宿稲すり踊り伝承活動の取組」

1 学校名

奄美市立宇宿小学校

2 学年・人数

1年生（4人） 2年生（5人） 3年生（5人） 4年生（4人）
5年生（4人） 6年生（4人）

計26人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

平成27年7月～平成27年10月

朝の活動，創意，総合的な学習の時間（本校体育館，多目的室，屋外運動場）

(2) 発表の日時・場所

平成27年10月 4日（日） 秋季運動会（本校屋外運動場）

平成27年10月18日（水） 市小・中学校音楽発表会

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

宇宿稲すり踊り（うしゅくいねすりおどり）

(2) 由来

明治時代から校区で踊られていた伝統芸能で，戦後，「宇宿稲すり踊り保存会」の方々が継承・保存に取り組んできた。現在は，奄美市指定無形民俗文化財，また奄美市認定一集落ブランドにもなっている。

本校では，平成5年から「宇宿稲すり踊り」に取り組んできた。「宇宿稲すり踊り保存会」の方々に協力をいただきながら，子どもたち向けにアレンジをした踊りの練習を続けてきている。

(3) 構成等

「宇宿稲すり踊り」は，島唄である「稲すり節」，三味線や太鼓，指笛等の鳴り物，踊りの3つのグループで構成されている。島唄や鳴り物の軽快なリズムに合わせて踊る。「宇宿稲すり踊り」には，人々の豊作や健康，幸せへの願いが込められている。

5 保存会や地域との連携の具体

「宇宿稲すり踊り」の練習期間中に，「宇宿稲すり踊り保存会」の方を招いて，島唄・鳴り物・踊りの様子を見ていただき，全体で注意しなければならない点を聞いたり，個別指導をしていただいたりしている。特に，三味線の指導については，上達するまでに時間を要するので，夏休み期間を利用して，指導者宅を訪問して指導を受けることもある。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

子どもたちに、秋季運動会や市小・中学校音楽発表会等の各種行事等での発表を意識させることで、練習への取組に集中力が高まり、島唄や三味線、鳴り物の上達へとつながった。また、保護者や地域の方々に練習の成果を参観していただき、子どもたちに称賛の声を掛けていただいたことで、子どもたちの「宇宿稲すり踊り」に対する有能感や達成感をもたせることができた。

また、「地域が育むかごしまの教育」県民週間では、「宇宿稲すり踊り保存会」や地域の方々に来ていただき、参加者全員で「宇宿稲すり踊り」を楽しく踊る場面を設けた。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【保存会の方による三味線の指導】



【朝の活動での練習】



【秋季運動会での発表】



【市小・中学校音楽発表会での発表】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

- 文化財継承の取組として、これからも学校現場における「宇宿稲すり踊り」の支援に励んでいきたい。(保存会)
- 子どもに踊りの意味を理解させながら、指導に励んでいる。(教職員)
- みんなにおどりをみてもらうのがうれしい。(1年)
- しっばいしないようにおどりをおぼえられるとうれしい。(2年)
- 自分は口笛の役なので、大きく鳴らしたい。(3年)
- 次の世代にもおどりをうけついでほしい。(4年)
- これから稲すり踊りをする人に教えられるように、たくさん練習したい。(5年)
- 奄美の大切な伝統文化を大切にしなければならぬと思いながら取り組んでいる。(6年)